

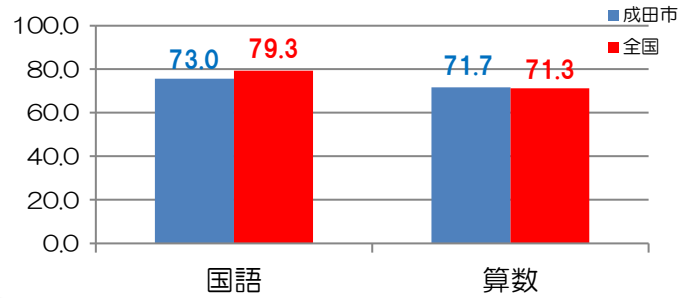
令和7年度成田市学力調査の結果について【小学2年生】

【成田市学力調査・実施概要】

- 1 実施日 令和7年12月3日・4日
- 2 実施教科 国語、算数

なお、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の一部であることを留意願います。

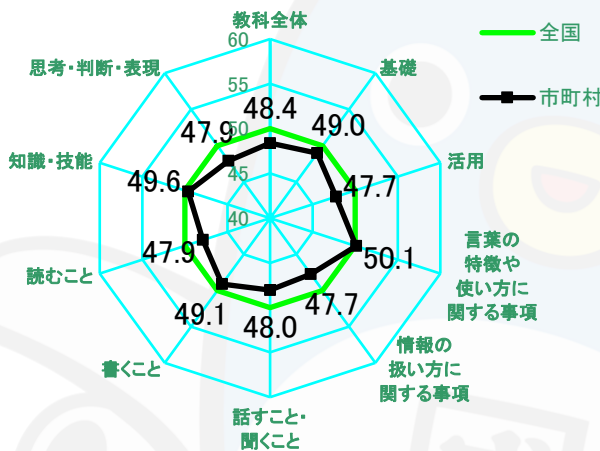
1 各教科の平均正答率



※本調査における全国(国)とは、国内の全小中学校のうち、本市と同じ問題を実施した児童生徒の平均正答率を示します。

2 教科ごとの状況

(1) 国語 (全国の正答率を50とした相対値)



【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
2 (2)	第1学年に配当されている漢字を正しく書いている。〈言葉の特徴や使い方に関する事項〉	95.3	92.1
6 (2)	相手に伝わるように、経験したに基づいて話している。〈作ったものについて話す〉	49.2	46.5

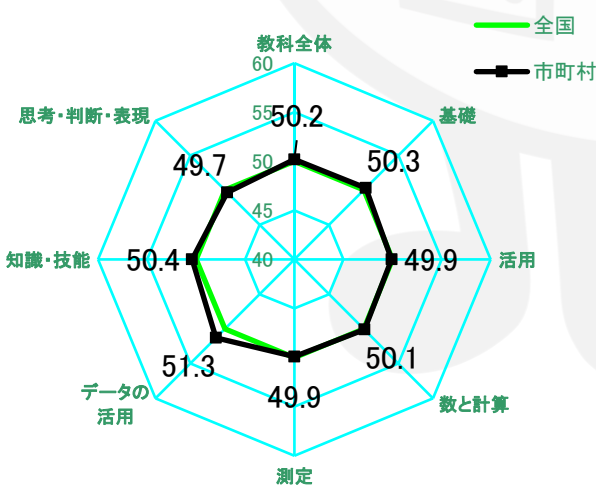
【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
5 (3)	文章の中の重要な語を考えて選び出している。〈説明文を読み取る〉	64.5	73.1
7	内容のまとまりがわかるように文章を書いている、〈文章を書く〉	55.9	64.9

【国語・力を入れたい学習】

物語文では、「いつ、どこで、だれが、どうした」を見つけたり、説明文では、文中に繰り返し出てくる言葉に注目しながら読んだりできるとよいでしょう。また、日常の中で主語と述語を意識したり、接続語を使って話したりすることが、論理的な文章を書く土台となります。

(2) 算数 (全国の正答率を50とした相対値)



【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
6 (2)	不等号を使った数の大小の表し方を理解している。〈1000までの数〉	87.4	81.4
15 (2)	文章問題(求小の場面)を解くための減法の式を選ぶことができる。〈ひき算〉	86.9	81.1

【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市 (%)	国 (%)
3 (1)	数直線の1めもりの大きさを理解している。〈1000までの数〉	43.3	48.0
5	10をもとにして、(何十) + (何十)の計算をしている。〈たし算〉	51.3	54.8
14 (2)	条件にあてはまるものを選び、選んだ理由を説明している。〈ひき算〉	23.8	25.5

【算数・力を入れたい学習】

不等号の使い方や、式から問題を選択することなど、基礎的な学習内容は定着しています。問題が解けるだけでなく、数直線や図に表して考えたり、解き方を先生や友達、お家の方に説明したりすることで、数や式の見方を広げていくと、思考力や表現力が向上するでしょう。